

社会福祉向上の一助に

宮坂建設工業 車いす寄贈

宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)は6日、地域の社会福祉向上に役立ててほしいと、同社札幌支社が事務所を構える札幌市北区の社会福祉協議会に車いす3台を寄贈した。北区役所別棟で行われた

贈呈式には、佐々木勝幸専務執行役員副社長、向山僚執行役員業務部長が出席。佐々木専務が北区社会福祉協議会の辻岳常務理事に目録を手渡した。同社は、北区社会福祉協議会から感謝状が贈られた。



寄贈した車いすは、認知症高齢者の福祉を支援している区内のグループホームに贈られ活用される。北区社会福祉協議会の辻常務理事は「車いすは経年劣化するので、長年にわたって活動を続けてい

ただき大変ありがたい」と謝辞を述べ「今回は、新型コロナウイルス感染症予防のため、北区グループホーム管理者感謝状を手にする佐々木専務(中央)と向山部長(左)

連絡会の出席がかなわなかったが、確実にお届けし、気持ちをしっかりと伝える」と話した。

佐々木専務は「お世話になっている北区の社会福祉の一助になれば、創業者の世のため人のために尽くせ」の遺訓に沿い、今後も続けていきたい」と活動の継続を約束した。

同社の車いす寄付は2008年から毎年継続し13回目。建設廃材のリサイクルポイント制を活用し、本社と出先を置く帯広、札幌、釧路の3市に贈呈が続いている。

北区への寄贈は今回を含め計41台となった。



北区社会福祉
協議会に車椅子

宮坂建設工業札幌

宮坂建設工業札幌支社

(札幌市北区)は6日、

札幌市北区社会福祉協議

会に車椅子3台を寄
贈した。佐々木勝幸
専務執行役員札幌支
社副支社長が北区役
所を訪れて贈呈し、
同協議会の辻岳常務
理事から感謝状を受
けた。写真。

佐々木専務は「お
世話になっている地
域へ恩返しができ
ば。今後も継続してい
きたい」と話し、協議会
は長年の寄贈に対して感謝
の意を伝えた。

同社では2008年か
ら毎年寄贈しており、こ
れで累計41台となった。